

1 単元名 Lesson 14 The Story of Jeans / Big Dipper Reading Course (数研出版)

2 単元目標

- ジーンズについて、知っていることや思っていることを発言しようとしたり、聞こうとしたりする。  
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- 理由を示す表現を用いて、論理的な文章を書くことができる。  
(外国語表現の能力)
- どのような経緯でジーンズが作られたか、またアメリカでジーンズの人気が出た理由を理解できる。  
(外国語理解の能力)
- ジーンズが世界中に普及した理由を考えることができる。また、時系列の文の書き方や理由を示す表現の用法を理解している。  
(言語や文化についての知識・理解)

3 単元について

(1) 教材観

本単元では、ジーンズの歴史に関する英文を読み、その起源や人気の理由について考える。また、「時系列をたどって読む」などのリーディング・スキルを意識しながら読んだり、理由を示す表現を用いて論理的な文章を書いたりする練習をする。

(2) 生徒の実態

英語に対する意識調査の結果 (平成 26 年\*月\*日 第3学年\*組\*名)

1 英語は好きか。	a:とても好き *%	b:好き *%	c:嫌い *%	d:とても嫌い *%
2 英語は得意か。	a:とても得意 *%	b:得意 *%	c:苦手 *%	d:とても苦手 *%
3 英語に興味はあるか。	a:とてもある *%	b:ある *%	c:ない *%	d:全くない *%
4 英語は必要か。	a:とても必要 *%	b:必要 *%	c:不必要 *%	d:全く不必要 *%
5 英語学習の目的。	a:受験 *%	b:将来 *%	c:興味 *%	d:教科として *%

(3) 指導観

ア 目標設定、評価規準の工夫について

国立教育政策研究所による「評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料 (高等学校 外国語)」(平成 24 年 7 月) (以下「参考資料」という。)には、「全ての生徒に確かな学力を身に付けさせるためには、適切な目標を設定して日々指導を工夫するとともに、生徒の実現状況を確実に把握して、さらにその後の指導に生かすことが必要である。(中略) また、目標に準拠した評価を行うために作成された評価規準を通して、生徒は学習の目当てや学習の重点を明確に知ることができる。そして、学習の後の教師からの評価によって、今後どのような点に注意して学習すべきかを考えることにもなるので、生徒の学習を改善することにもつながる。」とある。また、書いたものとそれに対する添削や評価は目に見えて蓄積され、折に触れて復習することもできる。これらにより、目標設定、評価規準を工夫することは、書く力の育成に効果があると考える。

イ 評価方法の工夫について

参考資料に「評価を適切に行うという点のみで言えば、できるだけ多様な評価を行い、多くの情報を得ることが重要であるが、他方、このことにより評価に追われてしまえば、十分に指導ができなくなるおそれがある。」とあるため、本単元では観察、ワークシート、ペーパーテストを適宜選択し、生徒による自己評価や生徒同士の相互評価などを工夫する。生徒による自己評価は、自身の能力を客観的に見ることができ、効果的であり、また、生徒同士の相互評価では、適切に伝えることができているのかを判断することができると思う。

4 指導と評価計画 (10 時間扱い)

時間	学習内容	関	表	理	知	評価規準 (評価方法)
1	Listening, 音読, Q&A を通して本文の概要把握	○		○		・英文の背景に興味を持ち、積極的に発言しようとする。(観察, ワークシート) ・英文の内容を大まかに理解することができる。(ワークシート)

2 ～ 7	パートごとに新出語彙・表現導入、 内容理解			○	○	・新出語彙や表現方法を理解している。(ワークシート) ・英文の内容を正しく理解できる。(ワークシート)
8 9 (本時) 10	・パートごとに、表現活動を通じた内容の復習 ・新出単語と文構造の定着 ・自己評価と生徒同士の相互評価を通じた、相手に適切に伝える力の確認			○	○	・パートの表現を用いて、自分の考えを適切に相手に伝えることができる。(ワークシート) ・相手の作成した英文を理解し、相手のやる気を促進する添削をしたり、感想を書いたりすることができる。(ワークシート)

## 5 本時の指導

### (1) 目標

- 理由を示す表現を用いて、論理的な文章を書くことができる。(外国語表現の能力)
- 相手の作成した英文を理解し、相手のやる気を促進するような添削をしたり、感想を書いたりすることができる。(外国語理解の能力)

### (2) 準備するもの

- ・ワークシート (自己評価・感想記入欄を含む)
- ・CD プレイヤー

### (3) 展開

	学習活動及び内容	時間	指導上の留意点 (◎ 評価) ☆Aになる状況, ▲Cの生徒への支援
導入	1 前時の復習 ・前時の表現方法を復習する。 ・自身のワークシートと照らし合わせて、ポイントを書き込む。  2 本時の活動の確認  3 既習事項の確認 ・ワークシートを用いて、パート2の新出語彙・表現を復習する。 ・目で追いながら、教科書の本文を聞き、本時のポイント(理由を表す表現)を含む文に着目する。 ・教科書を閉じて、本文を聞く。  ・本文に関する簡単なQ&Aを解く。	15分	・ワークシートを返却し、多くの生徒が誤用した文法項目を説明する。  ・評価のポイントと方法を説明する。  ・発音アクセントを確認する。 ・しっかりと声を出させるため、生徒と一緒に発音する。 ・はじめに聞くときは、教科書の英文を目で追わせて、文構造を確認させる。 ・教師の音読に続いて、コーラス・リーディングを行う。 ・教科書を閉じ、Qが多少聞き取れなくても、内容や新出表現から推測しながら答えるように促す。 ・大切なところは繰り返す。
展開	4 課題作文・自由作文 ・理由を示す表現を用いて、論理的な文章を書く。  5 他の生徒の英作文を読み、添削・感想記入	25分	・他者が読んで理解できる文章を書くことを意識させる。 ・辞書を適宜使用させる。 ・机間指導を行い、つまづいている生徒に助言したり、集中できない生徒に作業に集中するよう促す。 ◎理由を示す表現を用いて、論理的な文章を書くことができる。(ワークシート) ▲例文を提示する。 ・人間関係に考慮しながら配布する。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一度教師が回収し、その後ランダムに配布する。</li> <li>・書いてある英文を読んで、理解する。</li> <li>・理由を示す表現を用いて、論理的な文章になっているか確認し、相互評価する。必要であれば添削する。</li> <li>・内容に対して、感想を書く。</li> </ul>		<p>◎相手の作成した英文を理解し、相手のやる気を促進するような感想を書くことができる。(ワークシート)</p> <p>☆スペルや冠詞、三単現の間違いなどを訂正できる。</p> <p>▲日本語で感想を書いても可とする。</p>
まとめ	<p>6 自身の英作文の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・回収、返却されたものを見直し、他の生徒の評価を確認する。</li> </ul> <p>7 本時のまとめに、自己評価を行う。</p> <p>8 ワークシート提出する。</p>	10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自身の考えが相手に伝わったかどうかを確認させる。</li> <li>・ワークシートを用いて、目標を達成できたか確認させる。</li> </ul>

Lesson 14 The Story of Jeans, Part 2

評価のポイント

良くできた…3, 普通…2, 不十分…1

①関心・意欲・態度

a. ジーンズについて、知っていることや思っていることを発言しようとしたり、聞こうとしたりする。 【 】

②表現の能力

a. 本文の内容を簡潔にまとめて話す／書くことができる。 【 】

b. 理由を示す表現を用いて、論理的な文章を書くことができる。 【 】

1. あなたは、ジーンズの人気の理由は何だと思いますか。次の書き出しに続けて、自分の考えを英語で表現してみよう。

I think jeans are popular because .....

2. 本文の表現 (in order to do) を用いて、何か文章を書いてみましょう。

【感想】 1と2を読み、感想を書いてください。

③理解の能力

a. 「ジーンズ」「デニム」という言葉の由来を理解できる。 【 】

b. どのような経緯でジーンズが製作されたか理解できる。 【 】

c. アメリカでジーンズの人気が出た理由が理解できる。 【 】

④知識・理解

a. 時系列の文の書き方や理由を示す表現の用法を知っている。 【 】

b. ジーンズが世界中に普及した理由を考えることができる。 【 】